

平成 31 年度 入 試  
個別学力試験問題(後期日程)

総 合 問 題  
(法文学部法経学科・社会文化学科)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 11 ページ, 解答用紙は 3 枚, 下書き用紙は 3 枚です。指示があつてから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書とします。解答字数を指定した問題に対しては, 句読点や記号を字数に含めて解答してください。なお, 算用数字・小数点及びアルファベットは 2 字で 1 字として計算してください(漢数字は除きます)。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後, 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

1

次の文章を読んで、後の問い(問1～問5)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典) 見田宗介『現代社会はどこに向かうか——高原の見晴らしを切り開くこと』(岩波新書, 2018年)一部改変。

(注1) マキャベリズム: 目的のためには手段を選ばない権力的な統治様式。権謀術数主義。マキアヴェリズム。

(注2) まずまずしい: 「みずみずしい」の反対語。

(注3) ダグラス・ラミス: アメリカ合衆国の政治学者。

(注4) 桎梏: 足かせと手かせ。

問1 下線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問2 下線部(ア)「正しい勝ち方」について、筆者がそのように考えている理由を50字以内で説明しなさい。

問3 空欄  に当てはまるもっとも適当な語句を、次の選択肢の中から選んで、記号で答えなさい。

a. 冷戦            b. 資本主義            c. 社会主義            d. ベルリン

問4 下線部(イ)「20世紀を賭けた革命の破綻の構造」は、(1)否定主義、(2)全体主義、(3)手段主義に集約できると、筆者は述べている。それぞれについて、60字以内で説明しなさい。

問5 下線部(ウ)「理想的な世界」と、下線部(エ)「新しい世界」との違いは、筆者の主張に基づけば、どのような点にあると考えられるか。130字以内で説明しなさい。

2

図表 1～図表 6 を参照しながら、問い(問 1～問 4)に答えなさい。

問 1 図表 1 は日本酒の製造量及び日本酒製造免許業場数の推移を示したものの、図表 2 は酒の種類別の販売数量の推移を示したものの、図表 3 は世代別に「お酒ときいて最初に思い浮かぶもの」を示したものである。図表 1、図表 2、図表 3 から読み取れる事柄として、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

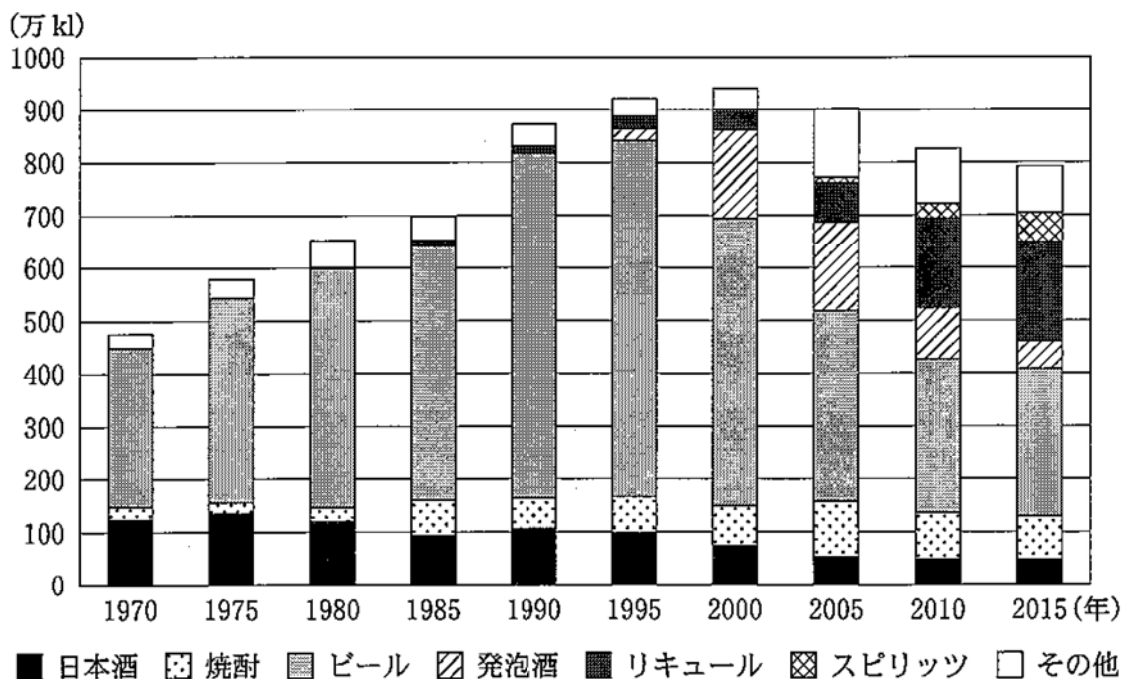
- (1) 日本酒の製造量は 1970 年以降、2015 年まで連続して減少しており、その量は、1970 年の約 35 % にまで減少している。
- (2) 2010 年、2015 年の日本酒の製造量をみると、いずれも 45 万 kl 程度で、あまり変化がみられない。
- (3) 日本酒製造免許業場数を、1970 年と 2015 年とで比較すると、約 46 % にまで減少している。
- (4) 酒全体の販売数量に占める日本酒の販売数量は、1970 年には約 35 % であったが、2015 年には約 5 % にまで減少している。
- (5) 「お酒ときいて最初に思い浮かぶもの」という設問で、ビールと日本酒とを比較すると、20 代でビールは日本酒の約 7 倍、30 代でビールは日本酒の約 5 倍である。

図表 1 日本酒製造量及び日本酒製造免許業場数の推移

年	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015
製造量(万 kl)	125.7	135.0	119.3	92.8	106.0	98.0	72.0	49.9	44.7	44.5
日本酒製造免許業場数(場)	3533	3229	2947	2586	2435	2336	2152	1938	1736	1627

(資料) 国税庁ウェブサイトより。

図表2 酒の種類別の販売数量の推移



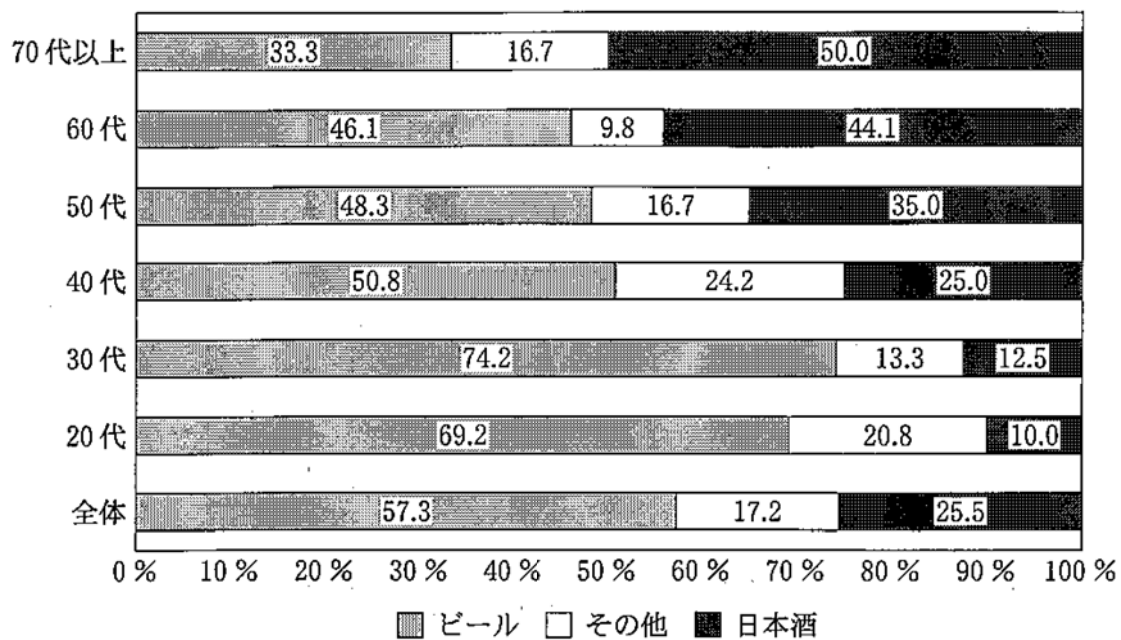
(注)

- ・発泡酒：麦芽又は麦を原料の一部とした酒類で発泡性を有するもの。
- ・リキュール：酒類と糖類等を原料としたもの。
- ・スピリッツ：日本酒，焼酎，みりん，ビール，果実酒，ウイスキー，ブランデーのいずれにも該当しないもの。ジン，ウオッカなど。
- ・その他：果実酒，ウイスキー，ブランデー，みりんなどを含む。

(資料) 国税庁ウェブページより。



図表3 「お酒ときいて最初に思い浮かぶもの」(2005年調査、世代別)



(資料) 国税庁ウェブページより。

問 2 図表 1 で読み取れる、日本酒の製造量及び日本酒製造免許業場数の推移とその背景を、図表 2、図表 3 を使用しながら 250 字程度で説明しなさい。

問 3 図表 4 は 2005 年から 2017 年までの間の日本酒の輸出量及び輸出金額の推移を示したものである。この間の日本酒の輸出量及び輸出金額の推移について、図表 4 から読み取れることを 100 字程度で説明しなさい。

図表 4 日本酒の輸出量及び輸出金額の推移

年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
数量 (kl)	9537	10269	11334	12151	11949	13707	14022	14131	16202	16314	18180	19737	23482
金額 (億円)	53.4	61.1	70.5	76.8	71.8	85.0	87.8	89.5	105.2	115.1	140.1	155.8	186.8

(資料) 国税庁ウェブページより。

問 4 図表 5 は日本酒の国(地域)別の輸出金額を, 図表 6 は海外における日本食レストランの数を示したものである。図表 4 に見られる推移の背景を, 図表 5, 図表 6 を使用しながら 200 字程度で説明しなさい。

図表 5 日本酒の国(地域)別の輸出金額(2017 年)

順位	国(地域)名	輸出金額 (億円)	対前年比 (%)	シェア (%)
1	アメリカ合衆国	60.4	116.2	32.3
2	香港	28.0	106.4	15.0
3	中華人民共和国	26.6	183.5	14.2
4	大韓民国	18.6	119.3	10.0
5	台湾	9.5	101.9	5.1
6	シンガポール	6.9	115.1	3.7
7	カナダ	4.9	127.6	2.6
8	オーストラリア	4.0	109.4	2.1
9	英国	3.5	107.7	1.9
10	ベトナム	2.7	93.1	1.4
	その他	21.8	117.3	11.7
	合 計	186.8	119.9	100.0

(資料) 国税庁ウェブページより。

図表6 海外における日本食レストランの数(2013年と2017年の比較)

地 域	2013年	2017年	伸び率(%)
北米	17000	25300	148.8
アジア(注)	27000	69300	256.7
中南米	2900	4600	158.6
オセアニア	700	2400	342.9
欧州	5500	12200	221.8
中東	250	950	380.0
アフリカ	150	350	233.3
ロシア	1200	2400	200.0
合 計	54700	117500	214.8

(注) 中東を除く。

(資料) 農林水産省ウェブページより。

## 【出典について】

1

見田宗介 『現代社会はどこに向かうか—高原の見晴らしを切り開くこと』（岩波新書，2018年）  
一部改変

2

図表 1

「長期時系列データ統計表（酒税）」（国税庁）

(<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/jikeiretsu/01.htm>)

を加工して作成

図表 2

「長期時系列データ統計表（酒税）」（国税庁）

(<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/jikeiretsu/01.htm>)

を加工して作成

図表 3

「清酒製造業の健全な発展に向けた調査研究」に関する報告書」（国税庁）

(<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/kasseika/hokoku/excel/01.xls>)

を加工して作成

図表 4

① 「平成 15 年～平成 25 年の輸出動向（金額・数量）」（国税庁）

([https://www.nta.go.jp/taxes/sake/yushutsu/yushutsu\\_tokei/index.htm](https://www.nta.go.jp/taxes/sake/yushutsu/yushutsu_tokei/index.htm))

を加工して作成

② 「平成 29 年 酒類の輸出動向について」（国税庁）

([https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2018/sake\\_yushutsu/01.pdf](https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2018/sake_yushutsu/01.pdf))

を加工して作成

図表 5

「平成 29 年 酒類の輸出動向について」（国税庁）

([https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2018/sake\\_yushutsu/01.pdf](https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2018/sake_yushutsu/01.pdf))

を加工して作成

図表 6

「海外における日本食レストランの数」（農林水産省）

(<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/service/pdf/150828-01.pdf>)

及び

(<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/service/attach/pdf/171107-1.pdf>)

を加工して作成